

kancolle
fanbook
keizyun-yo-kai
(zintu-)
DOJIN
R18
成人向

神通藍血情

じんつうあいじょう

penpen-gusa
club presents

前作『神通艶情』あらすじ。



御衣木は神通の怪我の世話をするなか今まで女性に接する機会が無かったためか
怪我の世話をするためとはいえ神通の柔肌を見るたび体が反応してしまう。
それを神通に見透かされ

「貴方は私の世話をするように言われてるのでしょうか？」
「なら私の言う事を聞きなさい！」

と言われ一線を超えてしまう。それからは神通の求めに応じてセックス漬けの日々。体の不調を押してまでセックスを強要する神通に艦娘としての業の深さを見た御衣木は彼女のために艦娘の為に立派な提督になる決意を改にする。

ところが研修半ばでありながら学校に還されてしまう。神通に別れも告げぬまま…。



数年後、提督となつた御衣木は神通の前に現れる。

「俺の下に来い」と

それに対する
神通の答えは—…

『神通嬌情』あらすじ。

提督となって神通の前に現れた御衣木(みそぎ)。神通を自分の鎮守府に引き抜きたいという申し出に話題をすり替えて断ってしまう。神通の意外な反応に戸惑う御衣木。神通の本心が見えない御衣木は暫くこここの鎮守府に留まることにした。

一方、神通はといえば突然目の前に現れた御衣木に激しく動搖する。体の関係を結んでしまったとはいえば数週間、一ヶ月も居なかつた彼に「立派な提督になる」という約束を果たしたのだから自分の下に来いと言われても素直に信じる事が出来ず何か他に意図があるのではないかと勘ぐってしまう。

断ったにも関わらず鎮守府に留まっている御衣木にますます不気味さを募らせる神通。彼と顔を合わせないように行動するも同じ鎮守府内の事、他の艦娘たちから色々な噂が入ってくる。そのたびに彼と体の関係を結んだときのことを思い出し自慰に耽ってしまうようになる。溜まった鬱憤を晴らすため御衣木に夜這いをかけて感情を爆発する。

御衣木はそんな神通を受け入れ詫びる。

「俺はただ神通にまた逢いたくて提督になったんだ」と。決して神通を怖がらせたりどうこうしたりするつもりはない。御衣木の本心を知り自らを恥じる神通。

「たとえ戦いで傷ついて斃れても強くて美しい神通が俺は大好きなんだ」と。そんな御衣木の言葉に心の底から泣き嗚咽を漏らす。

鎮守府逗留の最終日。
皆と共に御衣木を見送っていた神通。
そんな神通に鎮守府の皆がいる目前で

「俺は何時迄も
神通を待ってる」

と言い放ち、歓声と混乱と
神通の肝を冷やして
御衣木提督は去っていった



『神通潤情』あらすじ。



出御こ
会衣の
い木時
だ少が
つ年私
たと
の

一作目『神通艶情』の神通サイドを描いた話。

大怪我を負った神通は戦うことの出来ない自分に絶望し仲間が神通を気遣うことが難しいくらいに落ちこんでいた。

そこに提督のイトコだという士官候補生の少年が世話役として神通の怪我の世話をすることになる。

御衣木少年は甲斐甲斐しく神通の世話をし艦娘への尊敬と憧れもあって同情などではなく純真で誠実な態度で神通に接する。

一方神通は戦うことの出来ない鬱積から御衣木少年の純粹さを疎ましく思い自分に対する想いを利用して御衣木少年と一線を超えて肉体関係になる。それからは御衣木少年とのセックスに耽るようになる。戦いの代わりになる肉体の悦びを得た神通だったがそんな状況ですら自分をいたわる少年を置いてはいけないと想い元の士官学校に返してしまった。

あくまで神通が求めていたのは自分と共に墮ちてくれる相手だったから…



現れるの…?

俺の下に

神通

来ないか

更

あれから数年後
提督となった御衣木が
神通の前に現れる。

御衣木の意図が分からぬ
神通は彼に畏れを
抱くのだが…



御衣木の部隊と合同作戦を行う事になった。

神通は御衣木の連れてきている艦娘の中に自分と同じ『神通』の姿を見つける。

御衣木が誰を連れていようが自分には関係のないことではあるが心のなかにモヤモヤとしたものが残る神通。

そんな気持ちのまま作戦に望み、傷ついた御衣木を助けるため運悪く二人ではぐれ無人島で二人きりになる。

状況の成せる業かいつもなら抑えている感情を露わにしてしまう神通。

「貴方は『神通』ならだれでもいいのか」と。彼女は秘書官として優秀だから務めてもらっている、という御衣木の言葉を信じず怒りに任せて体を重ねてしまう。



後に助けられて帰還した後、御衣木は性的に不能だと耳にする。

その時になって彼の本当の心を知りそして迷う。

「私は一体どうしたらいいの…？」と

神通！



丁度貴女を探して、いたのよ
はい、コレ！

瑞鶴？

他鎮守府への出向
許可証？

重戦闘の怪我で
重体なのよ
御衣木提督

そういうのを

神通……

必要あり
ません

余計なお節介
つて言つんですよ
旗艦瑞鶴

！



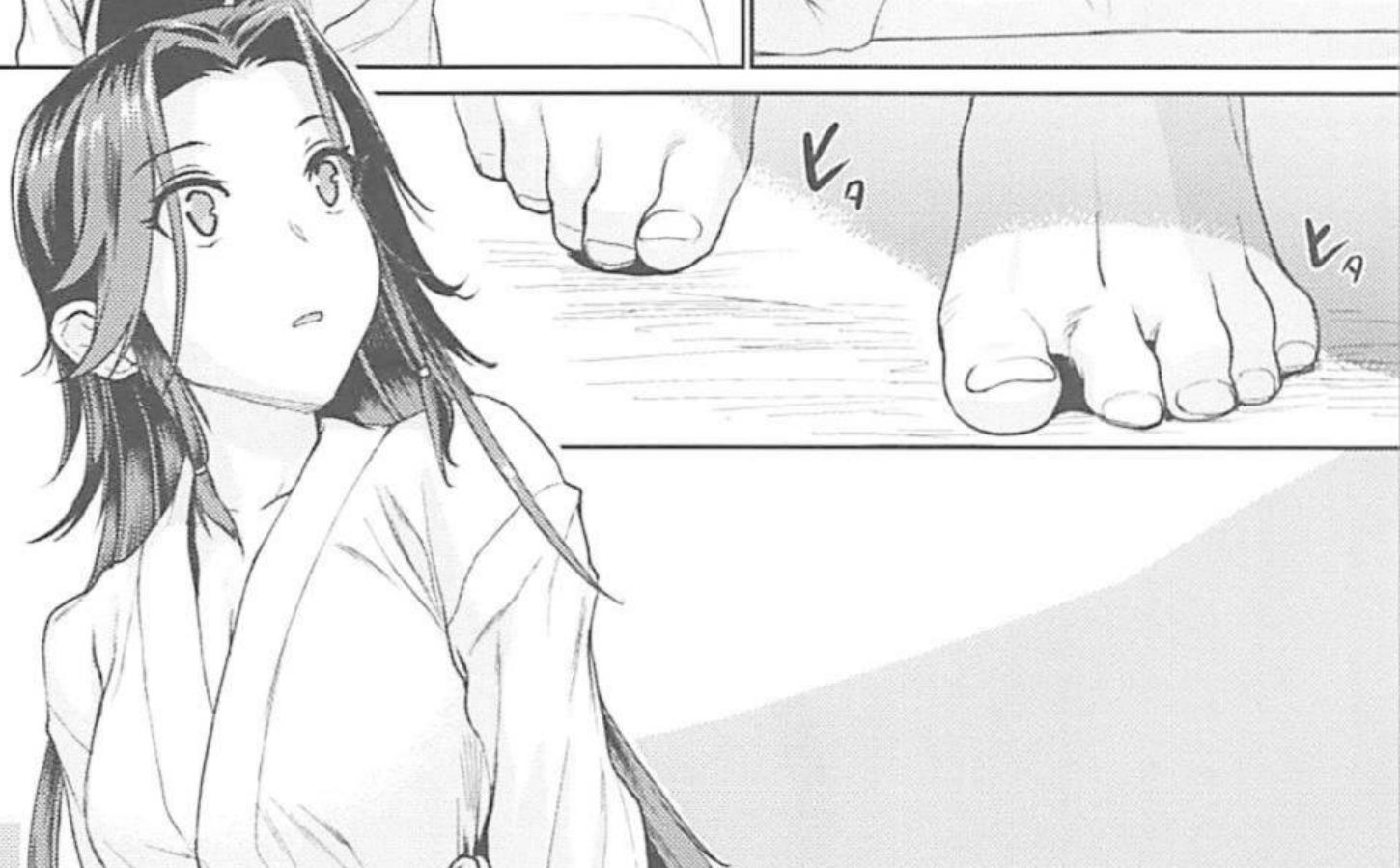
痛つ

瑞鶴さんと
揉めてたつて

全く…
お姉さんつたら
お節介なんだから

何でも以前
ここに来た
あの…

だれ？



神通さんに告白したあの提督さんの事で

なんでも意識不明らしいよ？

「は…

あれ
神通？

あ…なたの姿は一体…

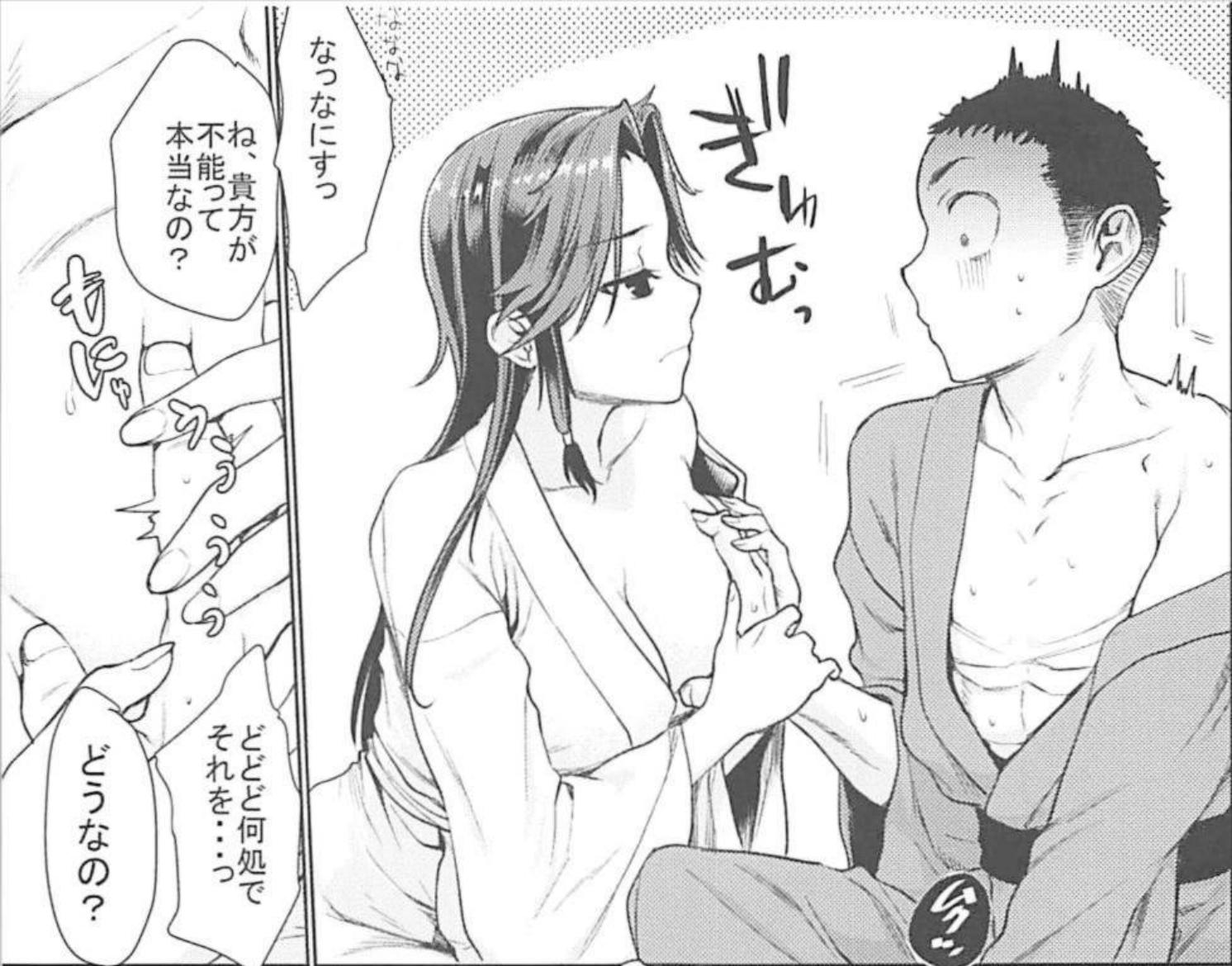
神つ…？

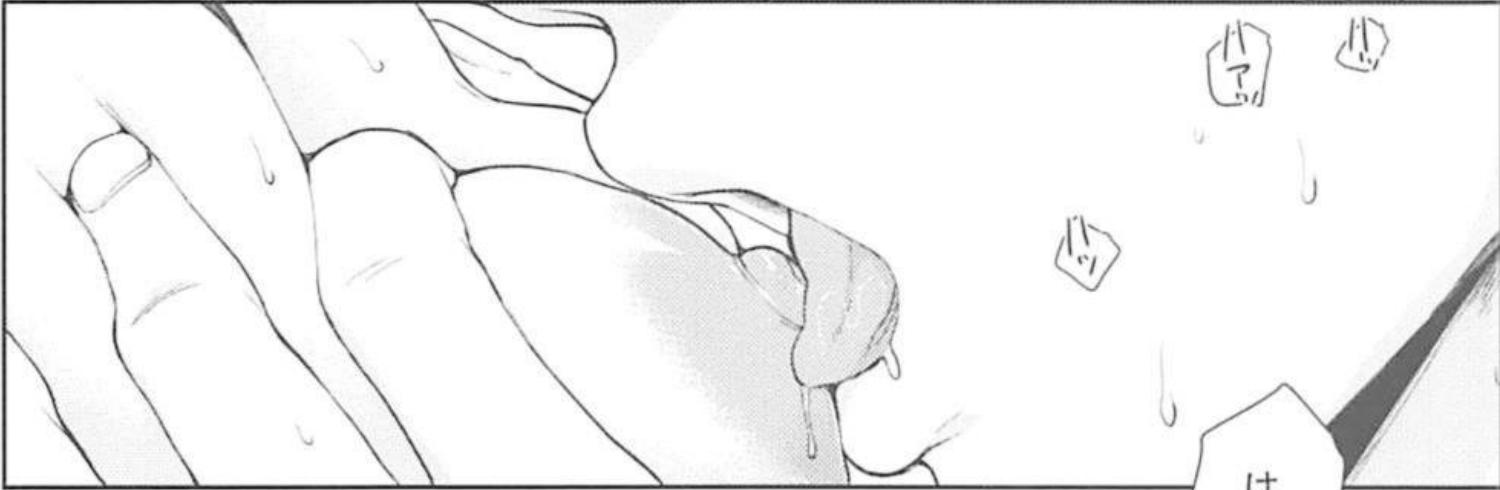
…そつか死んだら俺か











ねえ提督
私がどんなん風に
自分で自慰してたの？

そ、それ
言うの…

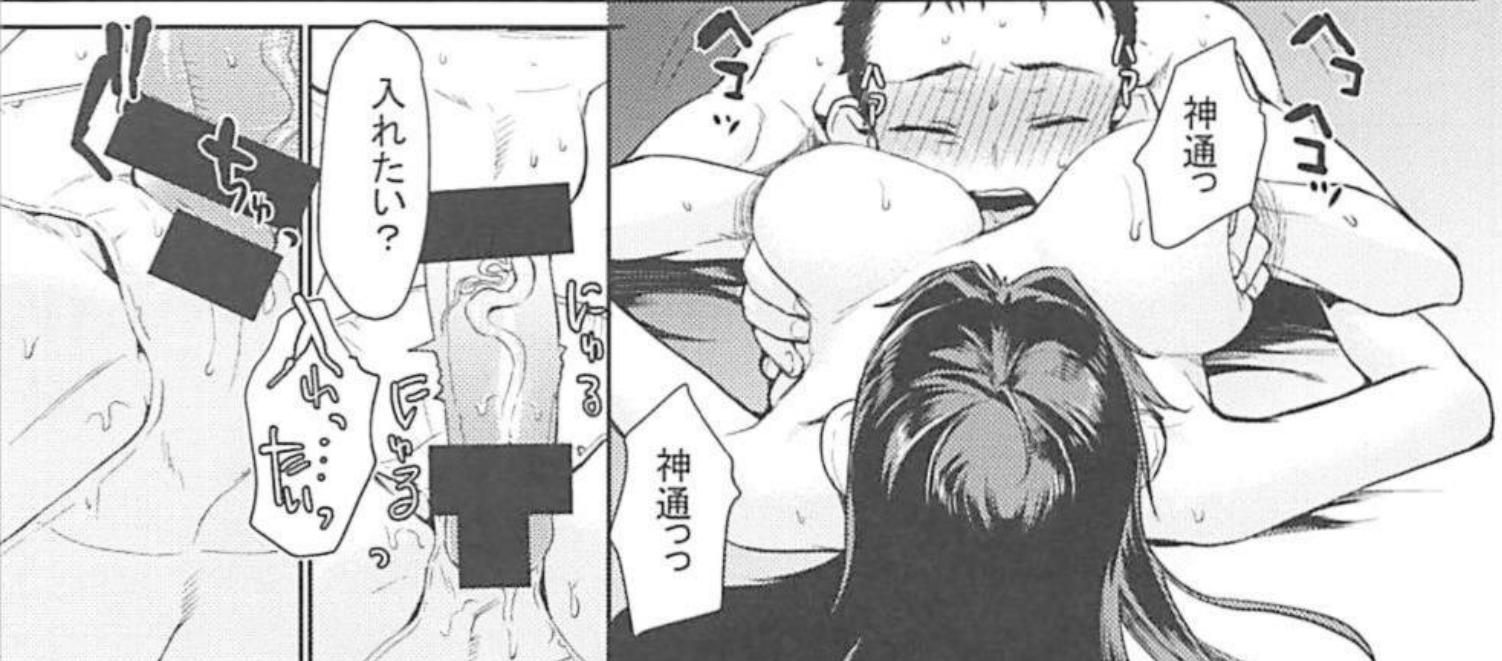
言わないと

ううい
いじわる
神通の

止めちゃ
おうかな

フフ♥







大丈夫だから
ねゆつくりしよ?

優しすぎる
こわい……

きゅっ

貴方が好き

だから

今までの
分も含めて

シテ?

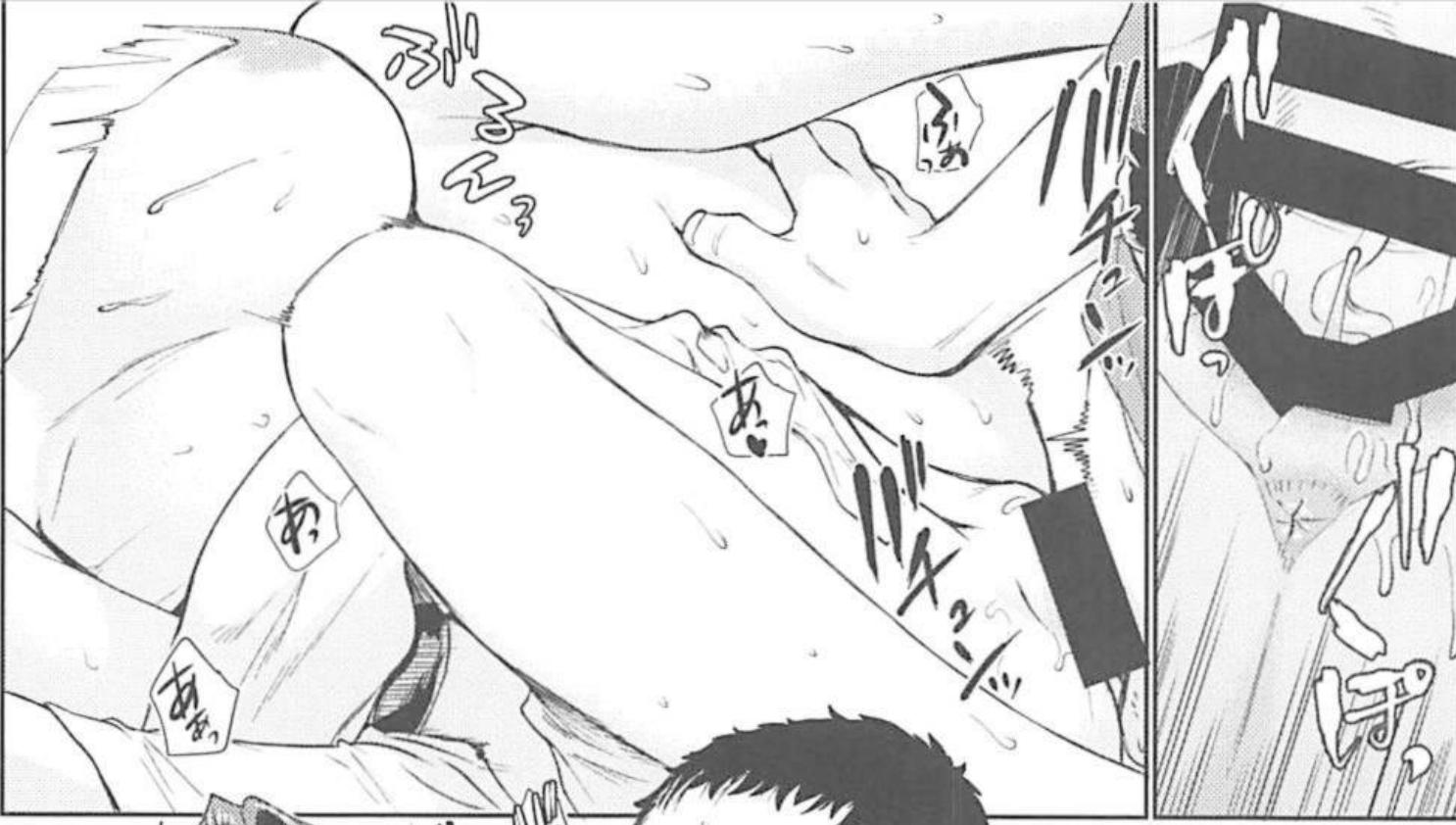
私……ね
自分の気持ちが
やつと分かつたの

えつ……?

貴方が好きだつてが

…



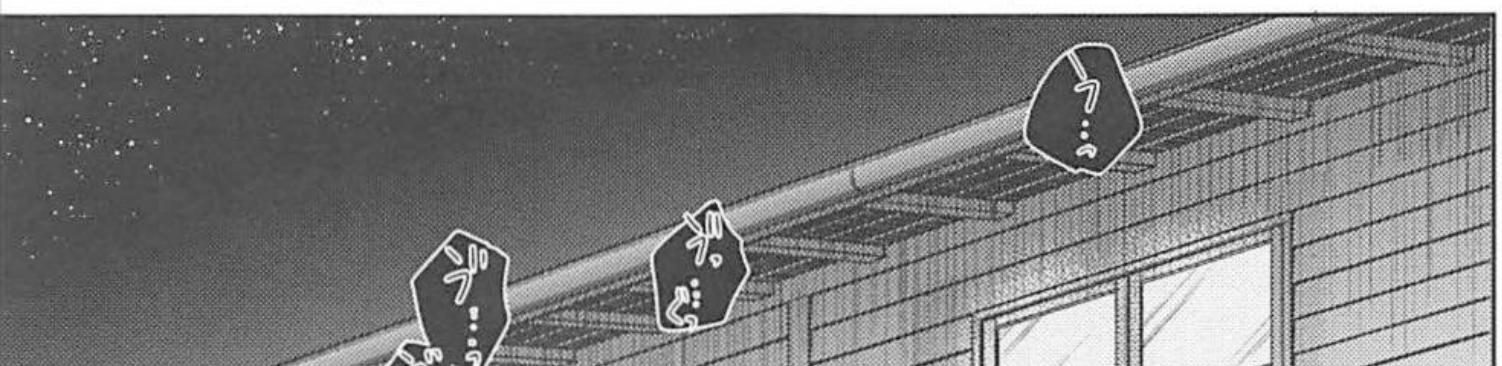












あの時は
本当に
驚きました



幾千の艦船との戦いを
艦娘達と戦い抜いた御衣木は
自らの身体を傷付けながらも
退官まで勤め上げた

私が貴方と一緒に居たいんです

神道も退艦まで
己の任務を忠実に
遂行し統け任を
退いたの
御衣木の元へ

最後の瞬間まで
一緒にいたという



奥付

発行日 2017.12.31

発 行 ペンペン草くらぶ
(カタセミナミ)

印刷所 大陽出版さま

連絡先 katase_minami@hotmail.com

A decorative border at the top and bottom of the page, featuring a repeating pattern of red stylized leaves and vines.

A dark blue and red floral graphic in the bottom-left corner, resembling a bouquet of roses, set against a light blue background.